

俱知安町防災計画整備状況について

町長 業務継続計画の精査検討と訓練実施により、

非常時優先業務の充実に努めていく

森下 平成29年12月 第4回定例会

でも防災関連については質問し、不備なところは新年度までには改善、周知を実施することなどが、その状況について質問する。まず、編成組織について伺う。



森下 義照 議員

ており、第1非常配備から第3非常配備の発令を行う事としている。

森下 編成に基づく各班の任務の周知について伺う。

町長 各班の災害応急対策任務は、町業務継続計画においてそれぞれ班ごとの任務内容が職名に割り振られている。各課に対する災害対応の任務の確認及び、修正は既に完了しているが、迅速かつ的確に対応するために、任務を常に理解することが必要なので、課長級の研修を実施して、各課長が課職員に任務の理解を深めていく研修を実施し、災害に備えていく。

町長 編成組織については、4月1日の人事異動に伴う修正案の作成は完成しており、本年7月に開催予定の町防災会議に提案する予定。

一方、町の業務継続計画においては、平成30年度の人事異動に伴う新組織図の時点修正は完了している。

町長 当該配備体制の配備要員は

自発的に連絡を取り、参加しなければならぬ町域防災計画に定められているが、完結時間は、町業務継続計画において、地震発生後1時間で26人、3時間後で32人、12時間後では88人、3日後では123人、1ヶ月後では156人が各課の配置職員と想定している。

森下 町内会全体に地区防災計画の策定計画を1月を目処に依頼するといわれたが、可能となったのか。またその計画に沿って教育されたのか伺いたい。

町長 町地区防災計画策定マニュアル

町地区防災計画策定マニュアル、俱知安町地区防災計画例及び俱知安町自主防災組織実施マニュアルの各班は、平成30年3月末に完成し、各町内会に策定を依頼する予定であった。

だが、意見等があり、現在内容を見直しているところ。その作業に当たっては、危機管理室職員も参加し、策定側の意見も聞き、内容の見直しや策定支援を広報等で検討し、7月中を目処にその他の町内会にも計画の作成依頼をしていく。

森下 防災無線の拡充方法を踏まえ検討するということだったが、その結果を伺う。

町長 現在、町防災行政無線と連動スマートフォン等情報提供が可能となるアプリケーションプログラムを導入を検討している。防災無線の残りの台数がまだあるようなので、早急に要望を取りまとめ配布したい。

森下 防災無線の平常時の活用に

ついて、町の行事等のお知らせ等に活用できないか伺う。

町長 平常時の活用については、内部で検討し、対応していきたい。

森下 防災資機材、物品等の保管場所について、現状維持か変更か伺う。

町長 現在の備蓄場所は、主に、食糧類が分庁舎に、物品は旧東陵中学校に保管している。平成33年度の新役場庁舎の供用開始後は分庁舎を主軸とした防災物品の保管場所として予定している。

森下 俱知安町の避難所、避難場所について新規に登録された場所、施設、または取り消しの場所等について、また、避難場所の目的不能箇所もあるため管理体制の見直しが必要となる。

町長 みなみ保育所、俱知安保育所を廃止、新規には、俱知安高校、俱知安農業高校が認められている。

現状、避難所は14ヶ所、避難場所23ヶ所が今年7月に開催される町防災会議において正式に指定される予定。避難場所が目的を達せない所もあり、避難場所の管理体制については、点検等を踏まえ、机上の中での議論でなく、現場を含めてしっかりと行かなければならない。



防災会議の様子

一般質問 森下 義照